

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業(国有林)	事業実施計画期間	平成25年～平成29年度(5年間)																				
事業実施地区名 (都道府県名)	上川北部森林計画区 (北海道)	事業実施主体	北海道森林管理局 上川北部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>本計画区は、北海道の中央からやや北の内陸部に位置する上川北部森林計画区の国有林野164,158haである。</p> <p>この地域は、天塩川の支流である安平志内川等の両岸に位置した南北に長い地域と天塩岳(1,558m)、ウエンシリ岳(1,142m)を主峰として、天塩川、名寄川等の集水域となっている山地で、森林の7割がミズナラ・シナノキ・カンパ類を主体とし、トドマツ・エゾマツ等が混交する天然林で占められ、3割は主に昭和30年代以降に造成されたトドマツ・カラマツ等の人工林となっている。しかし、道内有数の寒冷地帯であり、厳しい気象条件の影響等から、人工林等においては期待した成長が見込めず、天然広葉樹との混交林化が進んでいる林分が見られるとともに、チシマザサが侵入し、笹生地又は疎林化した森林も分布している。</p> <p>これらの森林については、大部分が保安林となっており、地域の水源地として、また、基幹産業である農業の振興に資する観点で重要な役割を担っていることから、水源かん養機能の発揮が求められている。</p> <p>また、優れた山岳景観を有し道立自然公園となっている天塩岳のほか、ピヤシリスキー場などがあり、登山やスキー、森林散策等のレクリエーションの場として多くの人々に利用されている。</p> <p>さらに、この地域は、林業・木材産業が農業に次ぐ第一次産業として発展してきたところであり、森林認証の取得等の取組がなされているなど、国有林に対しての期待もされている。</p> <p>これらのことから、生活用水、農業用水等の水源のかん養、土砂の流出・斜面崩壊等の山地災害の防止、木材の安定的な供給等の地域から求められる国有林野への期待に十分に配慮した事業計画とする。</p> <p>また、本事業においては、これら地域の要請に応えるとともに、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽等の更新作業、間伐等の保育作業及び効率的な森林整備を推進するための路網整備を実施し、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備、間伐材等の利用推進に資することを目的とする。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 30%;">森林整備</td> <td style="width: 20%;">更新面積</td> <td style="width: 30%; text-align: right;">283 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td style="text-align: right;">19,562 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td style="text-align: right;">71.2 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td style="text-align: right;">1.6 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td></td> <td></td> <td style="text-align: right;">2,798,516 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	283 ha			保育面積	19,562 ha		路網整備	開設延長	71.2 km			改良延長	1.6 km	総事業費			2,798,516 千円
主な事業内容	森林整備	更新面積	283 ha																				
		保育面積	19,562 ha																				
	路網整備	開設延長	71.2 km																				
		改良延長	1.6 km																				
総事業費			2,798,516 千円																				
費用対効果分析	総便益(B)	21,421,815 千円																					
	総費用(C)	3,264,051 千円																					
	分析結果(B/C)	6.56																					
森林管理局事業評価技術検討会の意見	必要性、有効性、効率性の観点から事業実施が妥当であると考えている。																						
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性 自然環境の維持、国土保全、水源かん養及び保健休養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・ 有効性 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・ 効率性 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規事業の採択に当たっての審査項目(チェックリスト)、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能(特に水源かん養)に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

様式1

便 益 集 計 表
(森林整備事業)

事業名: 森林環境保全整備

都道府県名: 北海道

施行箇所: 上川北部森林計画区

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	3,129,152	
	流域貯水便益	1,034,803	
	水質浄化便益	2,190,447	
山地保全便益	土砂流出防止便益	7,335,344	
環境保全便益	炭素固定便益	2,061,473	
木材生産等便益	木材生産等経費縮減便益	4,117	
	木材利用増進便益	1,125,141	
	木材生産確保・増進便益	773,128	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	1,078	
	治山経費縮減便益	425,041	
	森林整備促進便益	3,097,579	
災害等軽減便益	災害復旧経費縮減便益	244,512	
総便益(B)		21,421,815	
総費用(C)		3,264,051	
費用便益比	$B \div C = \frac{21,421,815}{3,264,051} = 6.56$		

森林環境保全整備事業 上川北部計画区(北海道) 事業概要図



対象計画区拡大図

